



いしき いしき救護園

社会福祉法人 沖縄県社会福祉事業団



いしき救護園

〒903-0804 那覇市首里石嶺町4-389

Tel 098-886-2136 Fax 098-887-1975

新年度に向けて



令和5年度 サービス提供方針

園長 野田里子

令和5年度がスタートしました。新型コロナウィルス感染症も2類から5類に移行し、社会全体の認識も変容していく中、福祉施設では、引き続き感染防止対策を講じながらも、できるだけ制限のない状況で過ごせるよう施設運営を行っていきたいと考えております。

さて、当園では毎年、職員のサービス提供の柱となる方針を掲げて利用者支援に当たっております。令和5年度のサービス提供方針は次のとおりです。

一 利用者一人ひとりの目指す生き方、希望を尊重した支援を行います。
二 職員一人ひとりが救護施設を支える一員であると認識を持ち、常に専門性の向上に努めます。

三 施設内外を清潔に保ち、快適でリラックスできる生活空間の維持に努めます。

当園の利用者の皆さんのが、日々安心して過ごすことができ、その中から少しでも楽しみや希望、そして新たなことに挑戦していく気持ちを支えていけるよう、職員一丸となって支援してまいります。
ご家族の皆様、関係者の皆様、今年度もどうぞよろしくお願ひ致します。

誕生日会



令和5年5月24日に当園の食堂にて4月生まれ5人、5月生まれ1人の計6人の誕生会を行いました。司会は利用者さんの進行で、誕生者の自己紹介に始まり、園長の挨拶、プレゼント贈呈、乾杯の音頭と会は進んでいきました。余興では「箱の中身は何だろな？」ゲームを行い、皆さん正解を出すごができ笑顔が見られたのと、皆に祝われて感謝の言葉もありました。その後は、利用者さんの民謡の披露もあり、和やかな雰囲気の中で会は終了しました。次回は、6月7月生まれの誕生者を7月にお祝いする予定です。

長浜

農耕班



園の畑で今年もオクラが実をつけ始めています。
沖縄気象台によると「今年の夏は異常な暑さになる可能性がある」との事
です。熱中症・紫外線対策を万全にして楽しく作業できたらと思います。

大城

*写真等の掲載につきましては、ご本人の了承を得ております。



膝痛・腰痛予防職場内研修



令和5年6月7日に当園理学療法士で講師の神谷先生を招き職員向けの膝・腰痛予防改善の為の研修が開かれました。資料を元に職場で実践できる予防活動などの説明を受け、正しい姿勢を意識することや自分の身体を知ることはとても大事だと話がありました。

また、マットを使用してのストレッチでは「痛いけど、効いている、気持ちいい」の声が聞かれ、痛みが改善し身体が軽くなったと効果を実感した様子でした。

正しいストレッチで腰痛・膝痛の予防、改善が出来ることが解り、改めてストレッチの重要性を感じる事の出来た研修会でした。



第50回いしみね地域福祉まつりが令和5年8月9日(水)午後18時より開催される予定です。場所は石嶺児童園グラウンドにて地域の福祉施設利用者や住人が参加し、いしみね福祉村音頭を皆で踊る事で交流を深めます。当日は、グラウンド中央にやぐらが設置され、各団体の踊りや旗頭、エイサー、力チャーシーが披露されます。

現在、いしみね救護園ではていんさぐぬ花、沖縄まつり音頭を一生懸命に練習しています。

城間



展示即売会



令和5年3月4日(土)いしみね救護園で展示即売会が行われました。地域交流を深めることを目的として、石嶺町伝統エイサー会や療育音楽会、会場の飾り付けなど、利用者一人一人が役割をもち、半年前から準備や練習を重ねてきました。また、数多くの就労事業所より出店して頂き、ありがとうございました。

金城

編集後記

新型コロナウイルスが5月8日に第5類に移行した事に伴い、様々なイベントなどが3年ぶりに開催されたりと、感染症対策による重苦しい雰囲気もだいぶ緩和されつつあります。

しかし沖縄県における感染状況は、全国平均を大きく上回っており、医療現場がひつ迫する事態が懸念されています。(1医療機関あたりの感染者数の平均値6月30日発表。全国平均6.13人に対して沖縄県39.48人)

当園利用者も4、5、6月とコロナ陽性者が1名ずつ発生し濃厚接触者を含め隔離対応し、感染拡大を防ぐ事が出来ました。又、職員1名の感染もありましたが感染拡大はせずに収束しました。

65才以上の高齢の利用者も多く呼吸器疾患のある利用者も当園での支援では、まだまだ気が抜けず、いつ感染者が出ても迅速な対応が出来るように心がけていきます。

いしみね救護園 広報委員 真川